

桜丘陸会 2020 上映会

銀河鉄道の夜 [8月1日(土)19時~]

18時より2021東京オリンピックのお話があります



原作は宮沢賢治の遺稿。1924年頃初稿が執筆され、晩年まで推敲が繰り返されて、1933年の賢治の死後、草稿の形で残された。ますむらひろしは主要登場人物を擬人化した猫として描いたが、賢治の実弟である宮澤清六は当初これに反発したという。

ジョバンニの家は貧しく、母親が病気で寝込んでいる

ので、朝は新聞配達、学校が終わってからは活版所でアルバイトをしている。父親は漁に出ているとジョバンニは信じているが、ラッコを密猟して投獄されていると噂され、そのことでジョバンニはほかの子供たちからかわれる。星祭りの夜、ジョバンニは居場所を失い、孤独を噛みしめながら上った天気輪の丘に寝転がる。気がつくと銀河鉄道に乗り込んでおり、親友カムパネルラと銀河めぐりの旅を楽しむことになる。二人は旅の中で出会うさまざまな人を通じて生きる意味を発見していく。

銀河鉄道の旅は、銀河に沿って北十字（白鳥座）から始まり南十字で終わる旅であり、それぞれの星座の暗黒星雲が現世と冥界を結ぶ通路として描かれる。

監督：杉井ギサブロー 原案：ますむらひろし

脚本：別役実 音楽：細野晴臣

出演：田中真弓（ジョバンニ）、坂本千夏（カムパネルラ）、堀絢子（ネザリ）、島村佳江（ジョバンニの母）

火垂るの墓 [8月15日(土)19時~]



原作は野坂昭如の小説で、野坂自身の戦争体験が基になっている。野坂は幼児期に生母と死別したのち、神戸で貿易商を営む叔母夫妻の養子となったが、神戸大空襲で住んでいた家は全焼し、養父は行方不明となる。当時14歳だった野坂は1歳の義妹とともに西宮市の親類宅に身を寄せたり、近くにあった防空壕で過ごすなどの経験をしている。

また、西宮から福井に疎開し、そこで義妹の面倒を見ることになっていたが、食糧事情が悪くなってからはろくに食べ物も与えず、その結果やせ衰えて骨と皮だけになった義妹は誰に看取られることなく餓死している。

物語は、兵庫県神戸市と西宮市を舞台に、戦火で親を亡くした14歳の兄と4歳の妹が終戦前後の混乱の中を必死で生き抜こうとするが、その思いも叶わずに栄養失調で悲劇的な死を迎えていく姿を描いている。

高畑勲監督はリアリズム志向を徹底し、当時の風物や家具などの道具類を正確に再現した描写は見どころのひとつとなっている。

監督：高畑勲 脚本：高畑勲 音楽：間宮芳生

出演：辰巳努（清太）、白石綾乃（節子）、

志乃原良子（清太・節子の母）、

平成2年度東京都地域の底力発展事業助成対象事業のおばさん